

2022 年度 DPC 調査参加病院向け  
DPC データ提出支援ツール

---

インストールマニュアル

株式会社健康保険医療情報総合研究所（PRRISM）

（Planning, Review and Research Institute for Social insurance and Medical program(abbr. : PRRISM)）  
本紙内において用いられる「PRRISM」は全て弊社の略称を意味します

## 目次

注意事項 .....	3
1. 概要 .....	4
1.1. 動作環境 .....	4
1.2. DPC データ提出支援ツールのインストーラーの機能 .....	4
2. 必要コンポーネントのダウンロードとインストール方法 .....	5
2.1. SQL Server 2014 Express インストーラーのダウンロード .....	5
2.2. .Net Framework 3.5 をインストール／有効化の確認 .....	5
2.3. .Net Framework 3.5 をインストール／有効化する .....	6
3. インストール／バージョンアップ方法 .....	8
3.1. インストーラーの実行 .....	8
3.2. SQL Server 2014 手動セットアップ .....	14
4. アンインストール方法 .....	26
5. Q&A .....	27
6. インストールができない場合 .....	27
6.1. 添付するエラー情報 .....	27

## 注意事項

ソフトウェアのご利用にあたりましては、以下の内容にご注意ください。

下記のソフトウェアおよびマニュアルは、「DPC 導入の影響評価に係る調査」に参加する医療機関が、データを作成することを支援する目的で配布するものであり、それ以外の目的での利用を禁止しています。

また、調査参加病院以外の医療機関が利用すること、内容に基づいて類似のソフトウェアを開発することを禁止します。

- ・ 「DPC データ提出支援ツール」
- ・ 「DPC データ提出支援ツール\_インストールマニュアル」
- ・ 「DPC データ提出支援ツール\_操作マニュアル」
- ・ 「DPC データ提出支援ツール\_Q&A」
- ・ 「DPC データ提出支援ツール\_EF ファイル統合機能マニュアル」
- ・ 「DPC データ提出支援ツール\_K ファイル生成機能マニュアル」
- ・ 「DPC データ提出支援ツール\_形式チェック機能マニュアル」
- ・ 「単体チェックエラーコード一覧表」
- ・ 「相関チェックエラーコード一覧表」

また、以下の内容は、作業前に必ず確認してください。

- ・ 使用前に本マニュアルをよくお読みになってください。
- ・ お読みになったあとは、いつでもご覧できるように保管してください。
- ・ 本マニュアルでは、当ソフトの設定／使用を行う上で必要となることを記載しております。一般的なパソコンの操作や設定については、お使いのパソコンのマニュアルや市販の書籍等をご覧ください。
- ・ 本マニュアルの内容の無断転載・無断複写を禁止します。
- ・ 内容について、万が一ご不審な点や誤り、記載漏れ等お気づきのことがありましたら DPC 調査事務局までご連絡ください。
- ・ 必ずコンピュータの管理者権限を持つユーザーで作業を行ってください。
- ・ インストールできない場合は、他の P C でのインストールおよび運用をお勧めいたします。
- ・ 当ソフトは院内の環境設定などにより、動作しない場合があります。完全に動作保証するものではありませんのでご了承ください。
- ・ セットアップ作業には、十分な作業時間を確保したうえで、行ってください。なお、セットアップ時間については、コンピュータのスペックや環境によって異なります。
- ・ 他のシステムやアプリケーションは、作業が完了するまで起動しないでください。
- ・ 起動している場合は、すべて終了させてから作業を開始してください。

## 1.概要

### 1.1. 動作環境

OS	Windows11(64bit) Windows10(32bit,64bit) Windows8.1(32bit,64bit) ※4
DB	SQLServer2014 Express SP3 ※1
CPU	SQLServer で要求されている性能を満たすもの ※Pentium4 以上推奨
メモリ	2GB を超えるもの
システムドライブの空容量	1GB 以上【推奨】(200MB 以下は不可)
セットアップ先のドライブの空容量	1GB 以上【推奨】(200MB 以下は不可)
必要コンポーネント	.Net Framework3.5 .Net Framework4.0 ※1
Excel	2013,2016,2019,2021 ※1,5 (各バージョン 32bit) (ストアアプリ版 不可) ※2

※ 1 : 形式チェック機能を使用する場合に必要です。

※ 2 : 「ストアアプリ版」での利用の対応はしておりません。ご利用時は、「デスクトップアプリ版」のインストールが必要です。

※ 3 : 上記の環境は DPC データ提出支援ツールのインストールに最低限必要な動作環境となります。EF 統合やチェック対象ファイルのデータ量が大きい場合は、上記以上の環境が必要になることがありますのでご注意ください。

※ 4 : Windows 8.1 につきましては、2023 年 1 月 10 日をもってマイクロソフト社の延長サポートが終了する予定となるため、その後の動作保証は出来かねますことをご了承ください。

※ 5 : Excel2013 につきましては、2023 年 4 月 11 日をもってマイクロソフト社の延長サポートが終了する予定となるため、その後の動作保証は出来かねますことをご了承ください。

### 1.2. DPC データ提出支援ツールのインストーラーの機能

機能	概要
① 「.NET Framework3.5」インストール補助機能	「.NET Framework 3.5」がインストールされていない場合、「.NET Framework 3.5 インストール」ガイドにより OS のインストールメディアから「.NET Framework 3.5」を有効にします
② インストール PC の動作環境チェック	「コンピュータの診断」により動作環境が全て整っているか確認を行います
③ 「.NET Framework4.0」インストール補助機能	「インストール PC の動作環境チェック」で「.NET Framework 4.0」がインストールされていない場合、「.NET Framework 4.0」をインストールします
④ 「SQLServer2014 Express SP3」の自動インストール	形式チェック機能で利用する「SQLServer2014 Express SP3」を自動的にインストールします
⑤ DPC データ提出支援ツールのインストール	DPC データ提出支援ツールをインストールします

## 2. 必要コンポーネントのダウンロードとインストール方法

新規インストールの場合は、下記に沿って必要コンポーネントのダウンロードとインストールを実施してください。

### 2.1. SQLServer2014 Express インストーラーのダウンロード

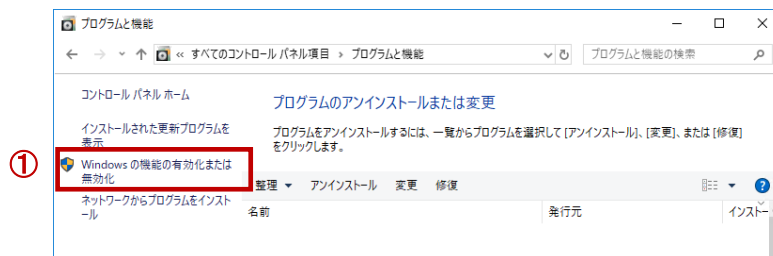
新規インストールで形式チェック機能を使用する場合、「**2022 年度** DPC 導入の影響評価に係る調査関連情報」のホームページから、「SQLEXP.ssi」も合わせてダウンロードしてください。

＜ダウンロードサイト＞ <https://www01.prrism.com/dpc/2022/soft.html>

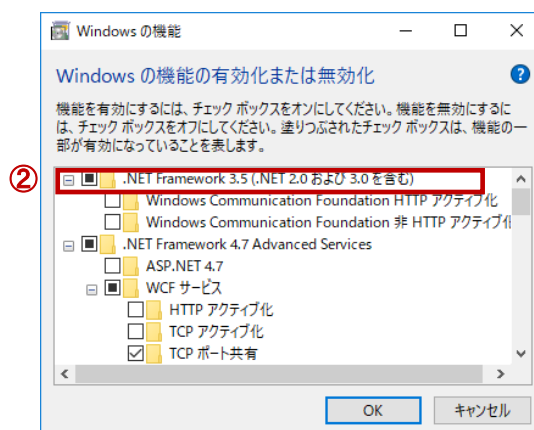
### 2.2. .Net Framework3.5 をインストール／有効化の確認

DPC データ提出支援ツールの新規セットアップをする前に、「.Net Framework 3.5」をインストールしてください。

#### 【確認方法】



- ① Windows の「スタートメニュー」→「Windows システムツール」→「コントロールパネル」→「プログラムと機能」の一覧から「Windows の機能の有効化または無効化」をクリックしてください。



- ② 表示された画面から、「.NET Framework 3.5(.NET 2.0 および 3.0 を含む)」のチェックが塗りつぶされている場合は**有効化**されています。

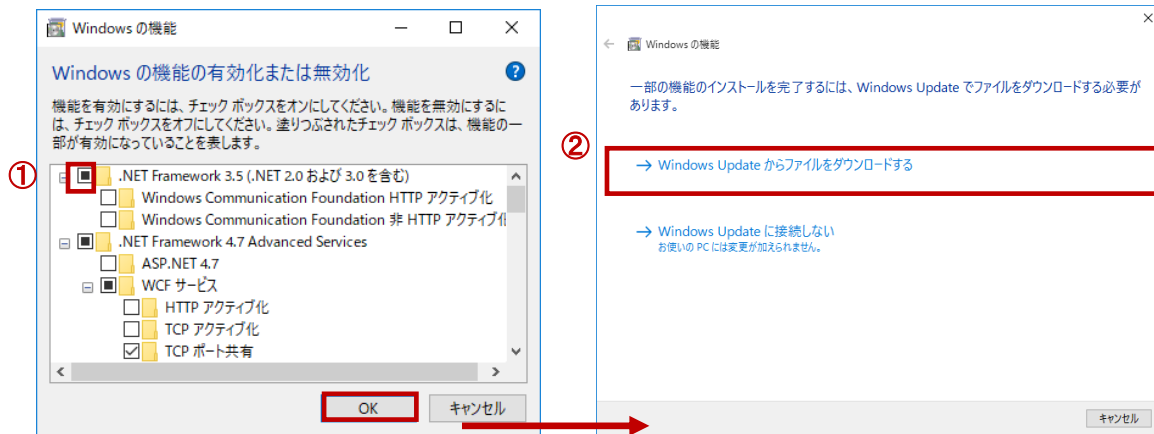
※ 塗りつぶされていない場合は、機能が**無効化**されていますので、次章、「[.Net Framework3.5 をインストール／有効化する](#)」に従ってインストール／有効化を実施してください。

## 2.3. .Net Framework3.5 をインストール／有効化する

有効化を行うために、以下の手順に従って実施してください。なお、作業対象 PC が「オンライン」が「オフライン」で対応内容が変わりますのでご注意ください。

### ■ オンライン環境でのインストール／有効化

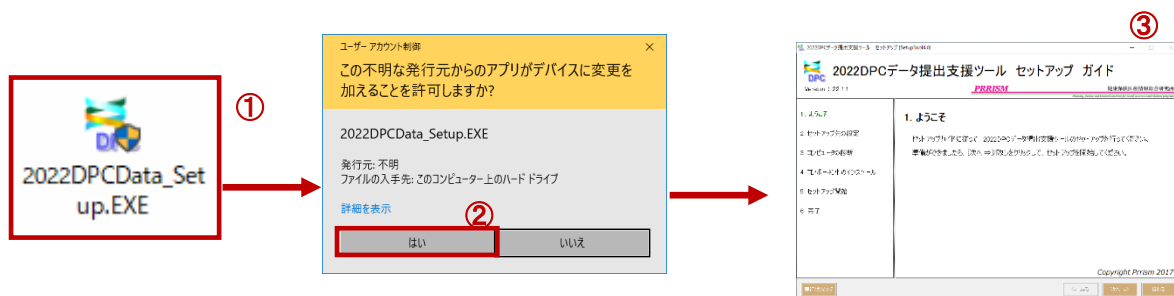
作業対象 PC が「オンライン」であり「Windows Update」が可能な状態であれば、以下の手順に従ってください。



- ① 「[.Net Framework3.5 をインストール／有効化の確認](#)」で開いた設定画面のチェックボックスを塗りつぶして[OK]をクリックします。
- ② 「Windows Update からファイルをダウンロードする」をクリックし、変更が正常に完了することで**有効化**されます。

### ■ オフライン環境でのインストール／有効化

作業対象 PC が「オフライン」である場合は、以下の手順に従ってください。



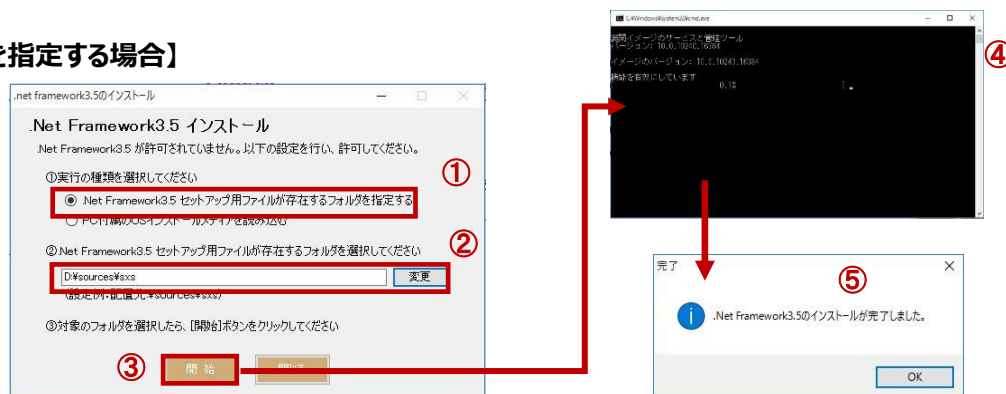
- ① ダウンロードした「2022DPCData\_Setup.EXE」をダブルクリックします。
- ② ユーザーアカウント制御の確認画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。
- ③ DPC データ提出支援ツール セットアップガイドが起動します。
- ④ ③の画面と同時に「.Net Framework3.5 インストール」の画面が表示されるので、次項目（[■ 新規セットアップ時に下記のような画面が出た場合](#)）を参考に「.Net Framework3.5」のインストールを実施してください。

## ■新規セットアップ時に下記のような画面が出た場合

表示された画面の内容に従って、「.Net Framework3.5」のインストールを実施してください。

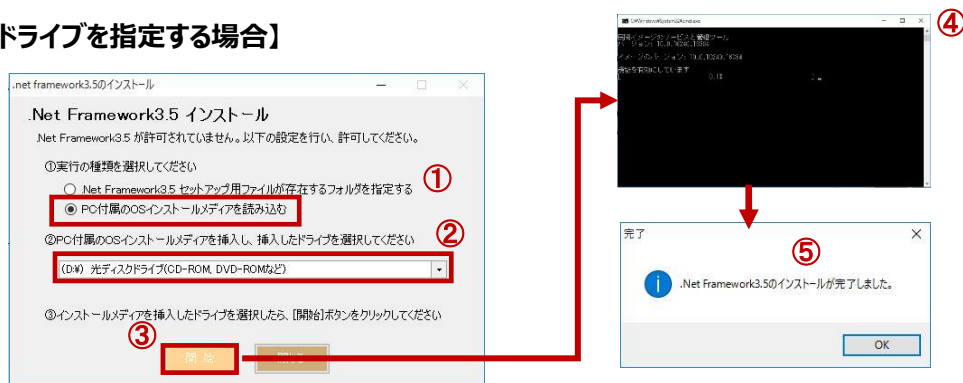
- ※ 作業 PC が「オンライン」環境である場合は、「[■オンライン環境でのインストール／有効化](#)」を参考に設定を実施してください。

### 【フォルダを指定する場合】



- ① 「.Net Framework3.5 セットアップ用ファイルが存在するフォルダを指定する」を選択します。
- ② [変更]ボタンより、対象のフォルダを選択します。
- ③ [開始]ボタンをクリックします。
- ④ 処理が始まりますので、完了するまで待機します。
- ⑤ 完了メッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。

### 【メディアドライブを指定する場合】



- ① 「PC 付属の OS インストールメディアを読み込む」を選択します。
- ② OS インストールメディアを挿入した、ドライブをプルダウンより選択します。
- ③ [開始]ボタンをクリックします。
- ④ 処理が始まりますので、完了するまで待機します。
- ⑤ 完了メッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。
- ⑥ 一度セットアップガイドツールを終了します。[閉じる]ボタンをクリックします。
- ⑦ 「このプログラムは正しくインストールされなかった可能性があります」のメッセージが表示されたら、[キャンセル]ボタンをクリックします。

※「.Net Framework3.5」のインストールエラーにおきましては、ソフトと直接関係のないお使いの Windows 環境によるエラーの場合、お問い合わせいただいても、ご回答できない場合がございます。あらかじめご了承ください。

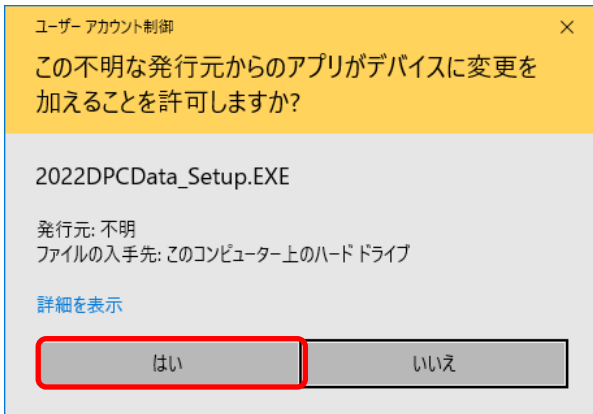
### 3. インストール／バージョンアップ方法

#### 3.1. インストーラーの実行

ダウンロードした「2022DPCData\_Setup.EXE」をダブルクリックし、インストーラーを実行します。

※ **必ずインストールPCのローカルディスクから実行してください。**

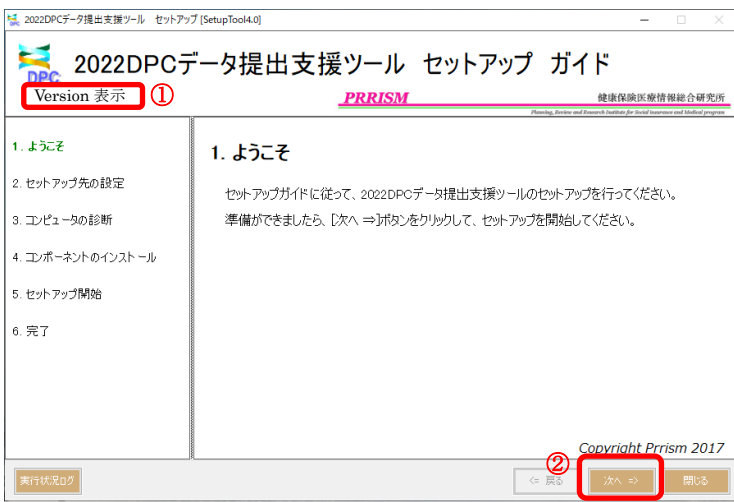
#### ● 「ユーザーアカウント制御」画面

画面	操作説明
	<p>① 本ツールのインストールは管理者権限で実施してください。 Windows へのログインが一般ユーザーアカウントであった場合は、管理者アカウントのパスワード入力が必要となります。 ※管理者アカウントが分からない場合は、各医療機関のシステム管理者とご調整をお願いいたします。</p> <p>② 「はい」ボタンをクリックします。</p> <p>③ セットアップガイド画面が開きます。</p>

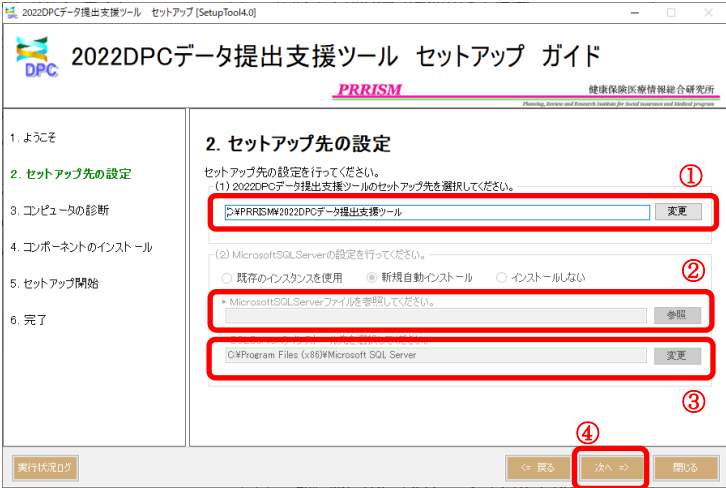
#### 【注意】.Net Framework インストール確認

作業対象の PC に「.Net Framework3.5」がインストールされていない場合、インストールを求める画面が表示されます。その際は、「[■新規セットアップ時に下記のような画面が出た場合](#)」に記載された内容に従い、インストールを実行してください。  
※インストール画面が表示されない場合は、.Net Framework3.5 のインストール／有効化は完了しています。

#### ● セットアップガイド画面

画面	操作説明
	<p>① セットアップガイドが立ち上がると「ようこそ」画面が表示されるので、インストールのバージョンを確認してください。 <b>※新規インストールとバージョンアップで表示に違いがあります</b> <b>■新規インストールの場合</b> 「これからインストールするバージョン番号」 <b>■バージョンアップの場合</b> 「現在インストールされているバージョン番号 ⇒ これからインストールするバージョン番号」</p> <p>② 「次へ =&gt;」ボタンをクリックします。</p>



画面	操作説明
	<p>① DPC データ提出支援ツールのセットアップ先（インストール先）の場所を入力します。 ※新規インストールの場合は、[変更]ボタンより、変更が可能です</p> <p>▽SQLServer2014 Express SP3 がインストールされていない場合（新規インストール）のみ選択可</p> <p>●新規自動インストール ※形式チェック機能を使用する場合</p> <p>② SQLServer ファイルを参照します。 ※「SQLEXP.ssi」ファイルは、DPC データ提出支援ツールのダウンロードサイトで入手可能です</p> <p>③ SQLServer のインストール先の場所を入力します。 変更する場合は、[変更]ボタンより、変更が可能です ※インストール時に作成されるインスタンス名は、「CODECHECK2014」となります</p> <p>●インストールしない ※形式チェック機能を使用しない場合</p> <p>④ 設定終了後、「次へ =&gt;」ボタンをクリックします。 システムドライブと同じドライブを選択した場合は、確認メッセージが表示されるので[はい]ボタンをクリックします。</p>

**【注意】 新規インストール時のセットアップ先のフォルダ設定について**

[変更]ボタンで任意のフォルダを指定した場合、インストール先は「(任意のフォルダ)¥2022DPC データ提出支援ツール」に設定されます。

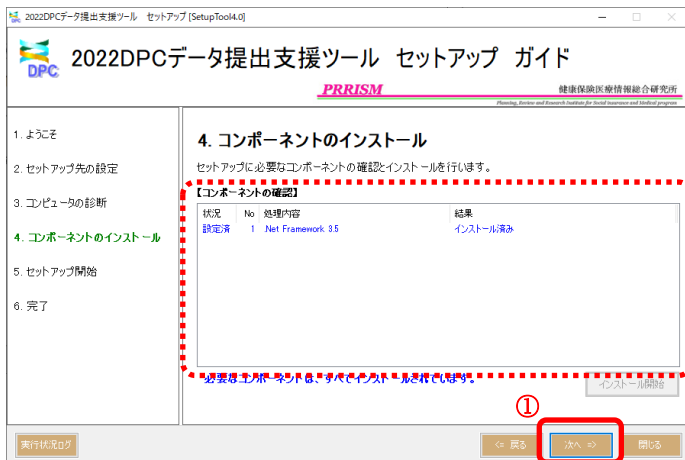
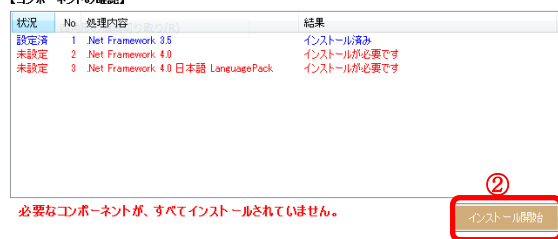
※ただし、任意のフォルダに「2022DPC データ提出支援ツール」の文字が含まれている場合は、インストール先は任意のフォルダに設定されます。

**セットアップ先のフォルダに指定がない場合は、初めに記載されている既定の設定である**

**「C:\PRRISM¥2022DPC データ提出支援ツール」のままインストールすることを推奨します。**

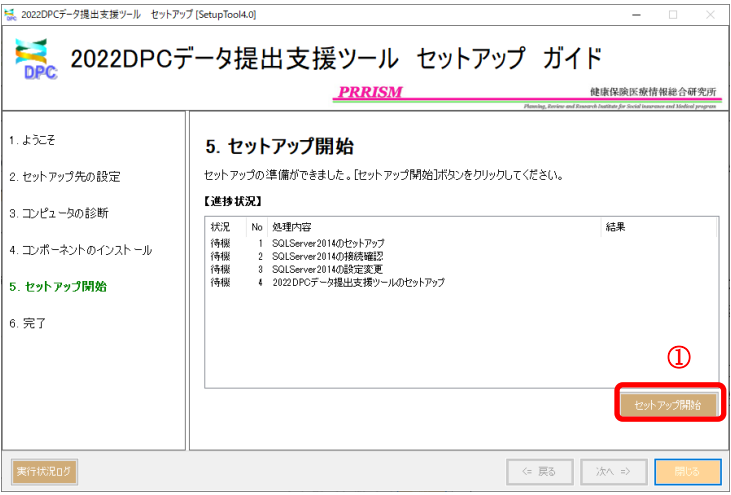


画面	操作説明																																
<div></div>	<div><p>①    コンピュータの診断内容がすべてシステムの要件を満たしていることを確認して「次へ =&gt;」ボタンをクリックします。</p><p>※【コンピュータの構成】で、すべてのシステム要件を満たさないと、次に進めません。</p></div>																																
<div>※    コンピュータの診断について</div> <div><div><div>【コンピュータの構成】</div><table><tr><th>構成名</th><th>診断</th><th>必須要件</th><th>解説</th></tr><tr><td>セキュリティ権限</td><td>Administrator, User</td><td>Administrator</td><td>必要な要件を満たしている</td></tr><tr><td>オペレーティングシステム(OS)</td><td>Windows 10</td><td>Windows 11, Windows 10, Wi...</td><td>必要な要件を満たしている</td></tr><tr><td>アーキテクチャ(ビット数)</td><td>x64</td><td>x86, x64</td><td>必要な要件を満たしている</td></tr><tr><td>物理メモリアイズ</td><td>16205MB</td><td>2048MB</td><td>必要な要件を満たしている</td></tr><tr><td>システムドライブ(C:)容量</td><td>53.8GB</td><td>0.5GB</td><td>必要な要件を満たしている</td></tr><tr><td>セットアップ先ドライブ(C:)容量</td><td>53.8GB</td><td>0.5GB</td><td>必要な要件を満たしている</td></tr><tr><td>SQLServerセットアップ先ドライブ(C:)容量</td><td>53.8GB</td><td>0.5GB</td><td>必要な要件を満たしている</td></tr></table></div><div><div>【構成名】</div><div>コンピュータの確認名称</div><div>【診断】</div><div>対象コンピュータの状況</div><div>【必須要件】</div><div>セットアップするうえでの必須条件</div><div>【解説】</div><div>結果の説明を表示</div></div></div>		構成名	診断	必須要件	解説	セキュリティ権限	Administrator, User	Administrator	必要な要件を満たしている	オペレーティングシステム(OS)	Windows 10	Windows 11, Windows 10, Wi...	必要な要件を満たしている	アーキテクチャ(ビット数)	x64	x86, x64	必要な要件を満たしている	物理メモリアイズ	16205MB	2048MB	必要な要件を満たしている	システムドライブ(C:)容量	53.8GB	0.5GB	必要な要件を満たしている	セットアップ先ドライブ(C:)容量	53.8GB	0.5GB	必要な要件を満たしている	SQLServerセットアップ先ドライブ(C:)容量	53.8GB	0.5GB	必要な要件を満たしている
構成名	診断	必須要件	解説																														
セキュリティ権限	Administrator, User	Administrator	必要な要件を満たしている																														
オペレーティングシステム(OS)	Windows 10	Windows 11, Windows 10, Wi...	必要な要件を満たしている																														
アーキテクチャ(ビット数)	x64	x86, x64	必要な要件を満たしている																														
物理メモリアイズ	16205MB	2048MB	必要な要件を満たしている																														
システムドライブ(C:)容量	53.8GB	0.5GB	必要な要件を満たしている																														
セットアップ先ドライブ(C:)容量	53.8GB	0.5GB	必要な要件を満たしている																														
SQLServerセットアップ先ドライブ(C:)容量	53.8GB	0.5GB	必要な要件を満たしている																														
<div>※    必須要件と診断結果対応</div> <table><tr><th>構成名</th><th>必須要件</th><th>要件を満たさない場合</th></tr><tr><td>セキュリティ権限</td><td>Administrator 権限を持つユーザー</td><td>Administrator 権限の Windows ユーザーで実行します</td></tr><tr><td>OS</td><td>Windows8.1、Windows10、11</td><td>OS の必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行います</td></tr><tr><td>アーキテクチャ（ビット数）</td><td>x64、x86</td><td>アーキテクチャの必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行います</td></tr><tr><td>物理メモリアイズ</td><td>2GB 以上</td><td>物理メモリアイズの必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行います</td></tr><tr><td>システムドライブ(C:)容量</td><td>0.5GB</td><td>システムドライブの空容量の必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行います</td></tr><tr><td>セットアップ先ドライブ(C:)容量</td><td>0.5GB</td><td>セットアップ先ドライブの空容量の必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行います</td></tr><tr><td>SQLServer セットアップ先ドライブ(C:)容量</td><td>0.5GB</td><td>SQLServer セットアップ先ドライブの空容量の必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行います</td></tr></table>		構成名	必須要件	要件を満たさない場合	セキュリティ権限	Administrator 権限を持つユーザー	Administrator 権限の Windows ユーザーで実行します	OS	Windows8.1、Windows10、11	OS の必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行います	アーキテクチャ（ビット数）	x64、x86	アーキテクチャの必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行います	物理メモリアイズ	2GB 以上	物理メモリアイズの必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行います	システムドライブ(C:)容量	0.5GB	システムドライブの空容量の必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行います	セットアップ先ドライブ(C:)容量	0.5GB	セットアップ先ドライブの空容量の必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行います	SQLServer セットアップ先ドライブ(C:)容量	0.5GB	SQLServer セットアップ先ドライブの空容量の必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行います								
構成名	必須要件	要件を満たさない場合																															
セキュリティ権限	Administrator 権限を持つユーザー	Administrator 権限の Windows ユーザーで実行します																															
OS	Windows8.1、Windows10、11	OS の必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行います																															
アーキテクチャ（ビット数）	x64、x86	アーキテクチャの必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行います																															
物理メモリアイズ	2GB 以上	物理メモリアイズの必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行います																															
システムドライブ(C:)容量	0.5GB	システムドライブの空容量の必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行います																															
セットアップ先ドライブ(C:)容量	0.5GB	セットアップ先ドライブの空容量の必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行います																															
SQLServer セットアップ先ドライブ(C:)容量	0.5GB	SQLServer セットアップ先ドライブの空容量の必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行います																															

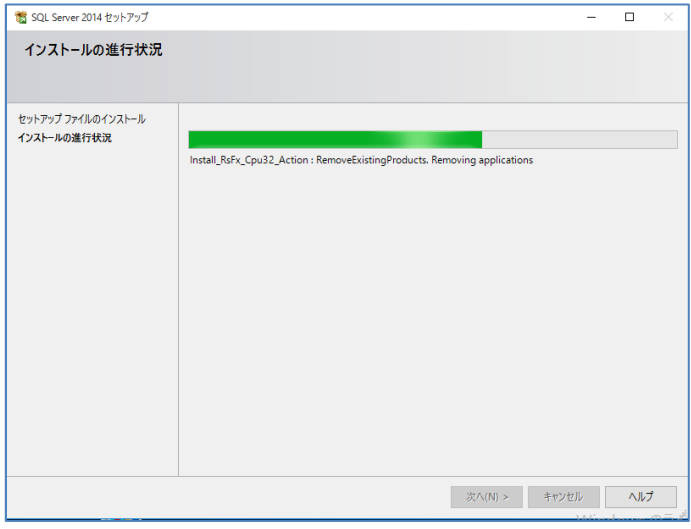
画面	操作説明
<div></div>	<p>① すべてのコンポーネントがインストールされていることを確認して「次へ =&gt;」ボタンをクリックします。</p> <p>※【コンポーネントの確認】で、すべてのコンポーネントをインストールしないと、次に進めません。</p>
<div></div>	<p>② 必要なコンポーネントがない場合は、「インストール開始」のボタンを押下してインストールすることができます。</p> <p>※コンポーネントがすべてインストールされていない場合は、「<a href="#">必要コンポーネントのダウンロードとインストール方法</a>」などの内容を参考に、別途インストールを行ってください。</p>

※ コンピュータの診断について

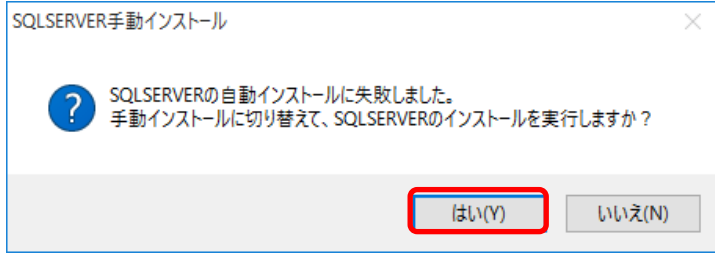
【コンポーネントの確認】				【状況】	インストールされているかどうかを表示
状況	No	処理内容	結果	【No】	表示番号を表示
設定済	1	.Net Framework 3.5	インストール済み	【処理内容】	対象のコンポーネント名を表示
設定済	2	.Net Framework 4.0	インストール済み	【結果】	結果の説明を表示
設定済	3	.Net Framework 4.0 日本語 LanguagePack	インストール済み		

画面	操作説明
	<p>① 「セットアップ開始」ボタンをクリックすると、セットアップが開始されます。</p> <p>※ セットアップされるプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ SQLServer2014 Express SP3</li> <li>➢ 2022DPC データ提出支援ツール</li> </ul> <p>※ エラーが発生した場合は、後述する「<a href="#">インストールができない場合</a>」をご参照ください。</p>

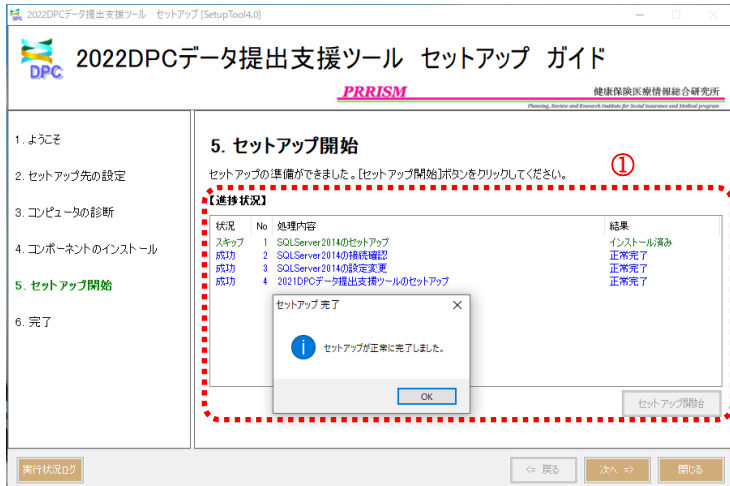


画面	操作説明
	<p>【SQLServer2014 Express SP3 がインストールされていない場合（新規インストール）のみ】</p> <p>① SQLServerがインストールされていない場合、自動的に「SQLServer2014 Express SP3」のセットアップ画面が表示され、インストールが行われます。</p> <p>② インストールが完了すると自動的に「SQL Server 2014 セットアップ」画面が閉じられます。</p>

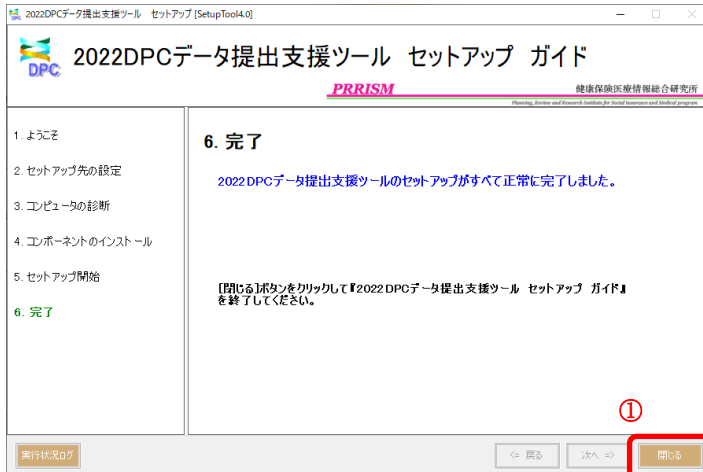


画面	操作説明
	<p>※SQL Server 2014 自動セットアップに失敗した時は「はい」ボタンをクリックしていただき、「<a href="#">SQL Server 2014 手動セットアップ</a>」を参照して実施ください。</p>



画面	操作説明
	<p>① セットアップ中、進捗状況の「結果」にセットアップ実行結果が反映されます。</p> <p>② すべてのセットアップが完了すると、「セットアップ完了」メッセージが表示されるので「OK」ボタンをクリックします。</p>



画面	操作説明
	<p>① すべてのインストールが完了し、「完了」画面が表示されます。「閉じる」ボタンをクリックし、セットアップガイドを終了します。</p>

以上で DPC データ提出支援ツールのインストールは終了となります。

DPC データ提出支援ツール起動後、初めて DPC データ提出支援ツールを使用する場合は「DPC データ提出支援ツール\_操作マニュアル」の「初回認証」を実施してください。

また、以降の操作については、「DPC データ提出支援ツール\_操作マニュアル」をご参照ください。

## 3.2. SQL Server 2014 手動セットアップ

本章は、12 ページ記載の SQL Server 2014 自動セットアップ失敗時にご参照ください。

以下の手順に従い、「SQLServer2014Express SP3」をインストールしてください。

※インストール・インスタンス作成が初めての場合か、またはそうではない場合かによって、インストールの手順（画面表示）が変わります。

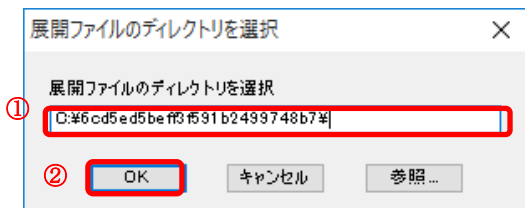
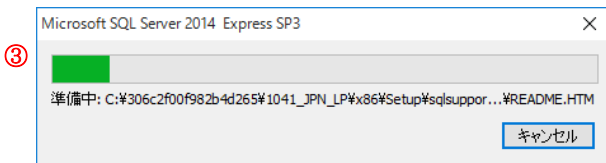
それぞれの場合に合わせた手順に沿って、インストールをしてください。

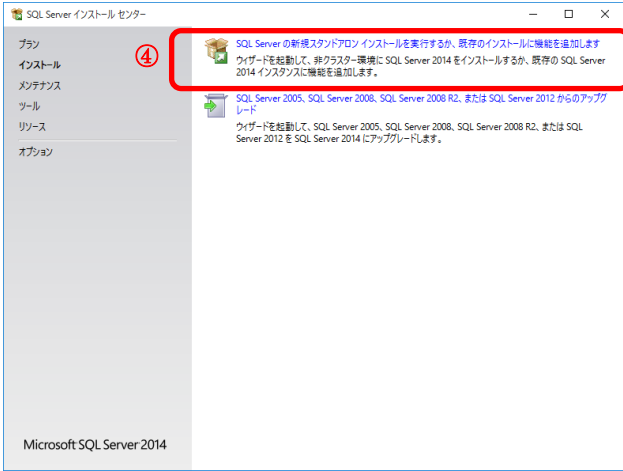
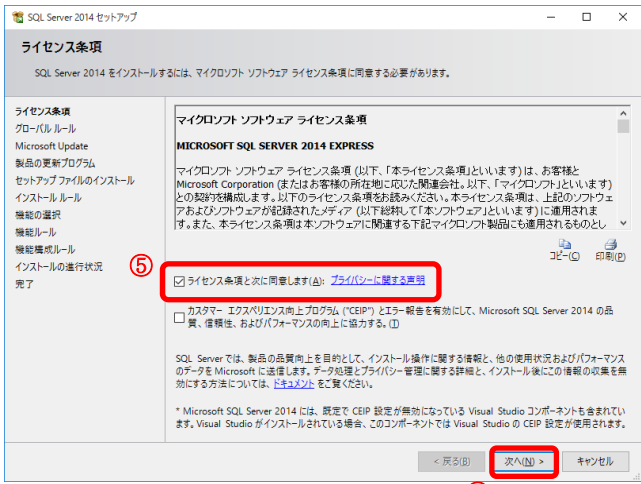
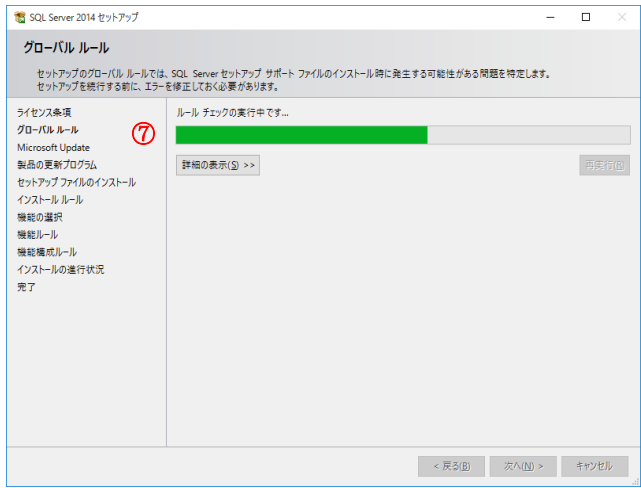
### ■初めて SQLServer をインストールする場合

### ■既に SQLServer をインストールしている（別のインスタンスを作成している）場合

どちらの場合も設定していただく内容に違いはありません。

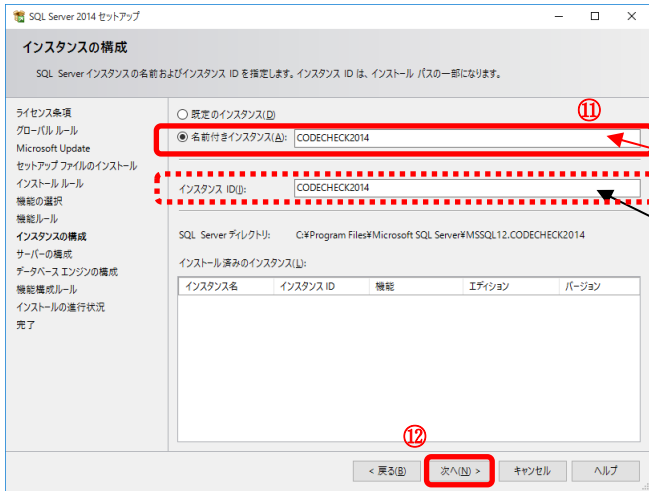
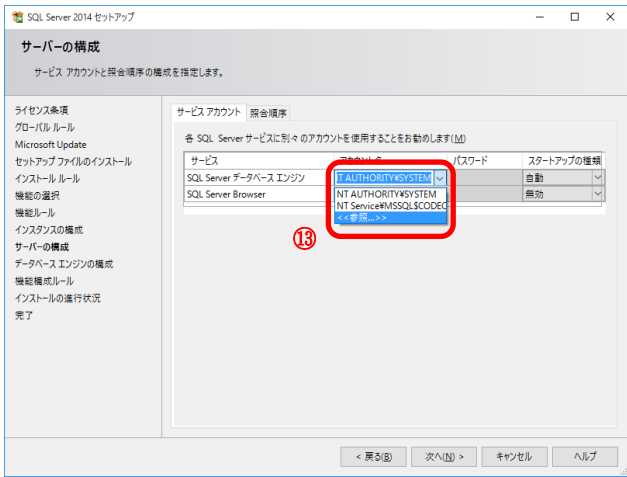
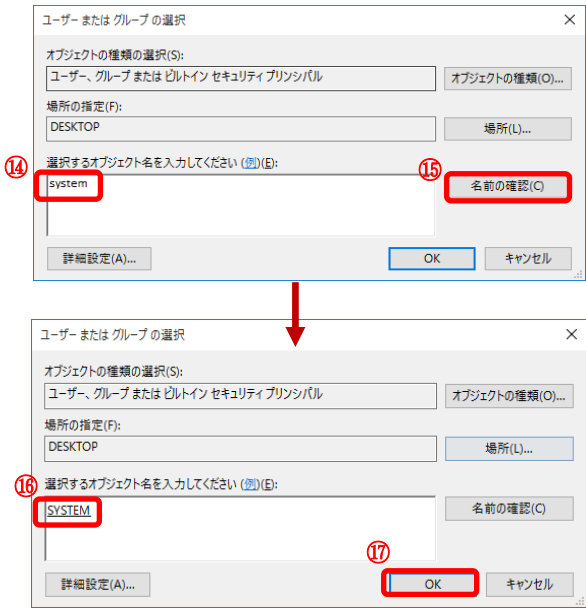
### ■初めて SQLServer をインストールする場合

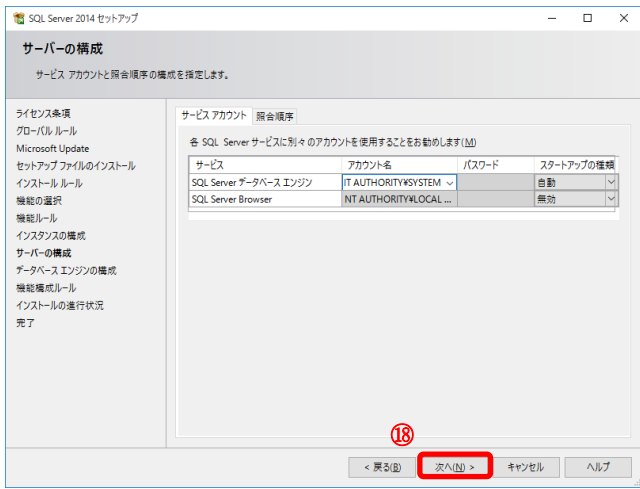
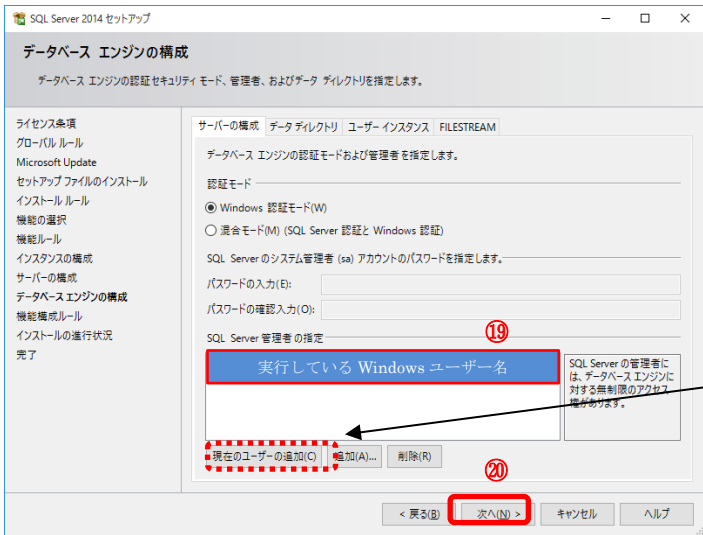
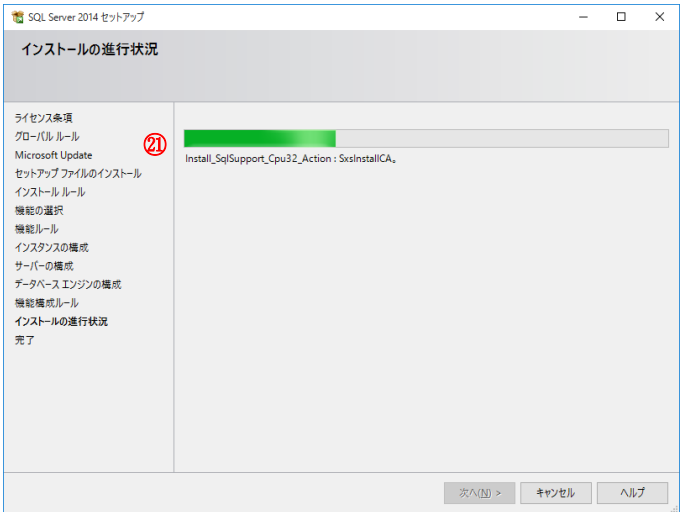
画面	操作説明
	<p>① SQL Server 2014 セットアップファイルを展開する場所（一時的な展開フォルダ）を設定してください。</p> <p>※ ここで設定したディレクトリに SQL Server 2014 がインストールされるわけではありませんので、ご注意ください。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【注意】</b> 展開ファイルのディレクトリは中身が空のディレクトリを選択してください。</p> </div> <p>② 「OK」ボタンをクリックします。</p>
	<p>③ 展開処理が開始されますので、待機します。</p>

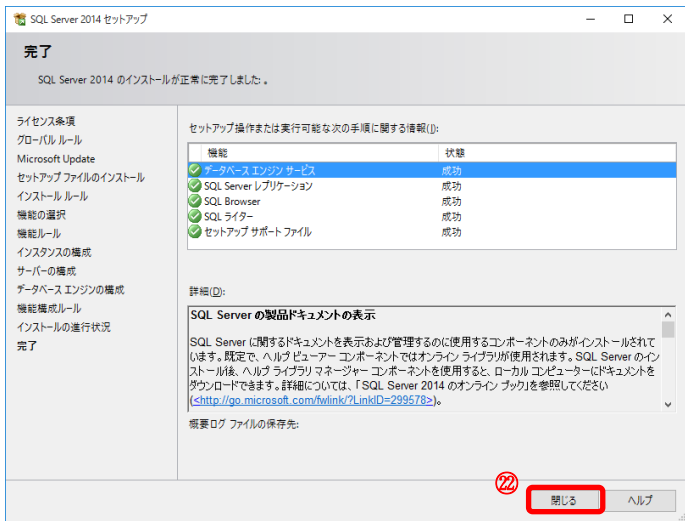
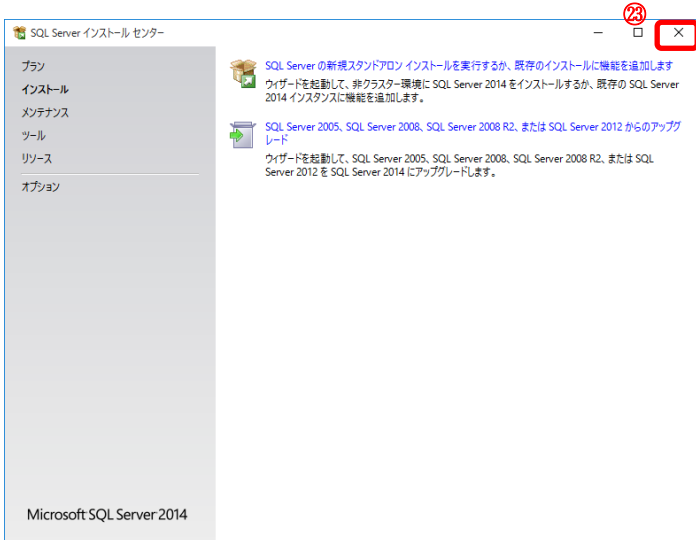
画面	操作説明
	<p>④ インストールセンターの画面が表示されたら、「SQL Server の新規スタンドアロン インストール」を実行するか、既存のインストールに機能を追加します」をクリックします。</p>
	<p>⑤ ライセンス条項に同意しますにチェックを入れます。</p> <p>⑥ 「次へ」ボタンをクリックします。</p>
	<p>⑦ グローバルルールの確認が実行されますので、待機します。</p>

画面	操作説明
	<p>⑧ Microsoft Update の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。</p>
	<p>⑨ 製品の更新プログラムの画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。</p>
	<p>⑩ 機能の選択画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。</p> <p>SQLServer インストール先を変更する必要がある場合は、適宜行ってください。</p>

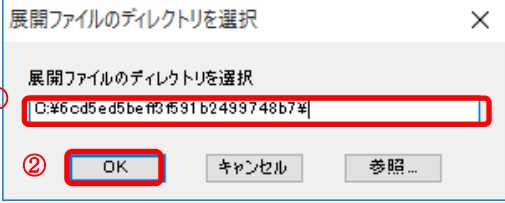
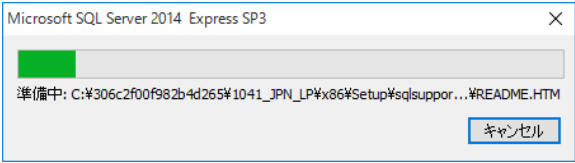
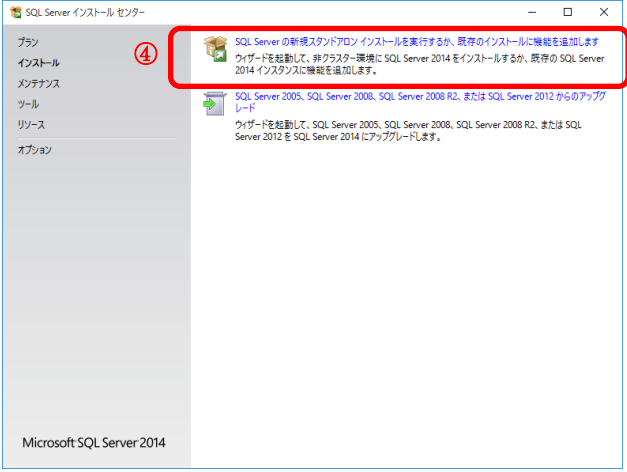


画面	操作説明
	<p>⑪ 名前付きインスタンスを選択して、半角英数字で「CODECHECK2014」と入力します。</p> <p>⑫ 「次へ」ボタンをクリックします。</p> <p>名前付きインスタンスに「CODECHECK2014」と入力ください。</p> <p>インスタンス ID のテキストボックスをクリックすると自動で「CODECHECK2014」と入力されます。</p> <p><b>【注意】</b> 名前付きインスタンス・インスタンス ID が、半角英数字で「CODECHECK2014」と入力されていることをご確認ください。</p>
	<p><b>【注意】</b> SQL Server データベース エンジンのアカウントは、以下の手順で必ず「NT AUTHORITY\SYSTEM」で設定してください。</p> <p>⑬ SQL Server データベース エンジンのアカウント名のプルダウンを表示して、参照ボタンをクリックします。</p>
	<p>⑭ ユーザーまたはグループの選択画面が表示されたら、入力欄に半角英字で「system」と入力します。</p> <p><b>【注意】</b> 必ず半角英字で「system」と入力してください。</p> <p>⑮ 「名前の確認」ボタンをクリックします。</p> <p>⑯ 入力した値が「SYSTEM」に変更されます。</p> <p>⑰ 「OK」ボタンをクリックします。</p>

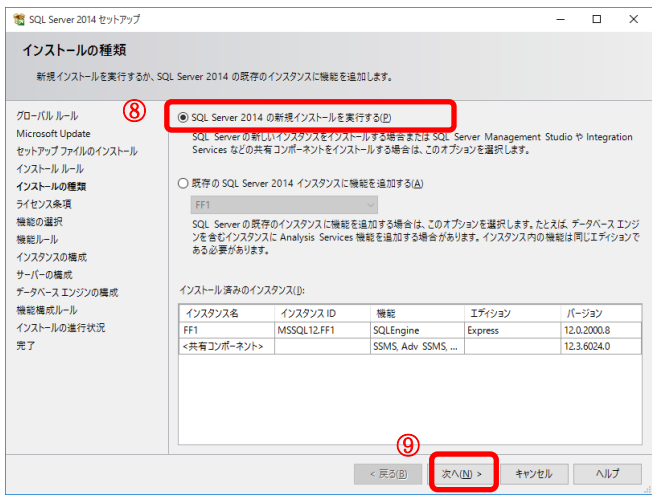
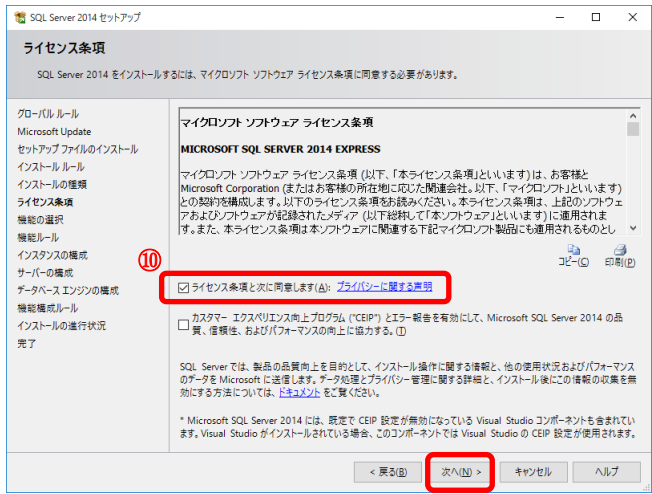
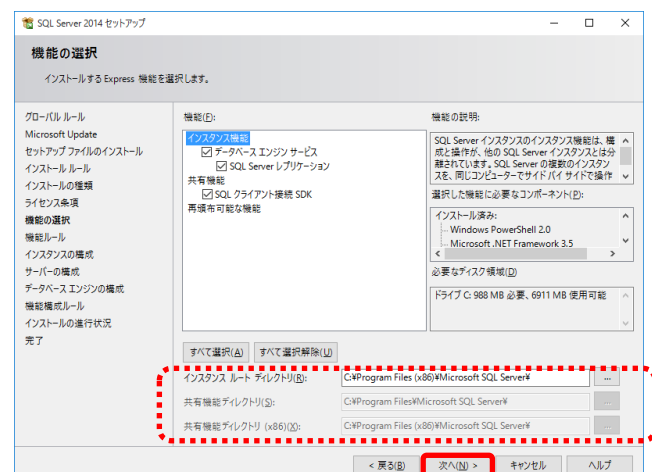
画面	操作説明
	<p>⑱ 「次へ」ボタンをクリックします。</p>
	<p>⑲ 実行している Windows ユーザー名が表示されているか確認します。 (表示されていない場合は、追加してください)</p> <p>⑳ 「次へ」ボタンをクリックします。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【注意】</b> 実行している Windows ユーザー名の表示がない場合は、「現在のユーザーの追加」ボタンをクリックして、ユーザーを追加してください。</p> </div>
	<p>㉑ インストールが開始されますので、インストールが完了するまで待機します。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【注意】</b> お使いの PC の環境によっては、インストールが完了するまで、30 分以上かかる場合があります。途中で、インストールを中断せず、処理が終わるまで操作しないでください。</p> </div>

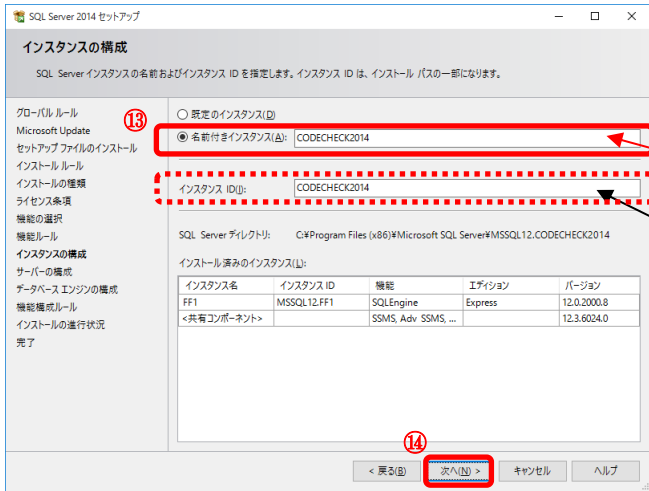
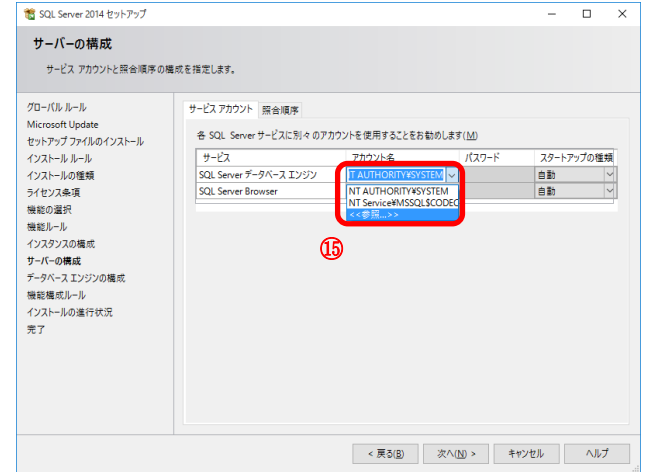
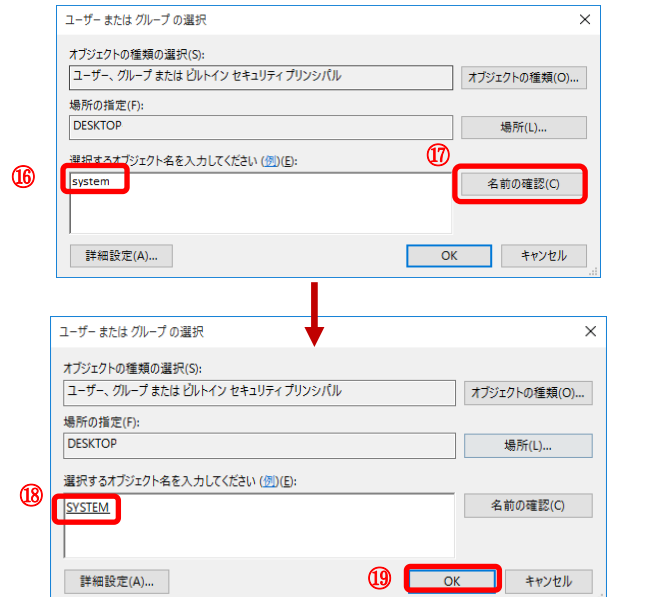
画面	操作説明
	<p>②② インストールが完了したら、「閉じる」ボタンをクリックして終了します。</p>
	<p>②③ インストールセンターの画面も閉じてください。</p> <p>インストールセンターの画面を閉じましたら、セットアップ開始が再開されますので、引き続きセットアップを実施してください。</p>

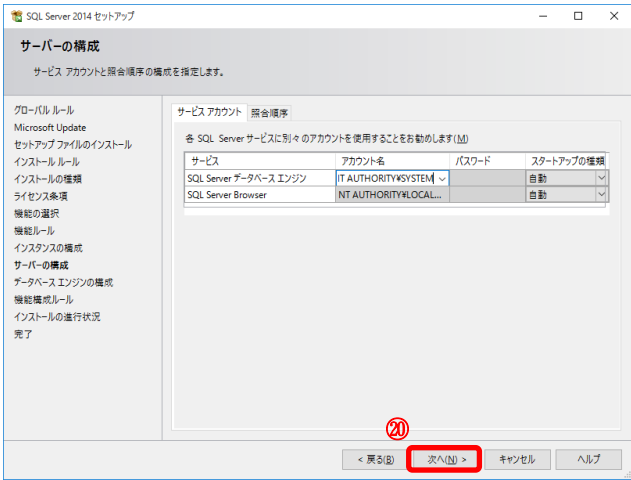
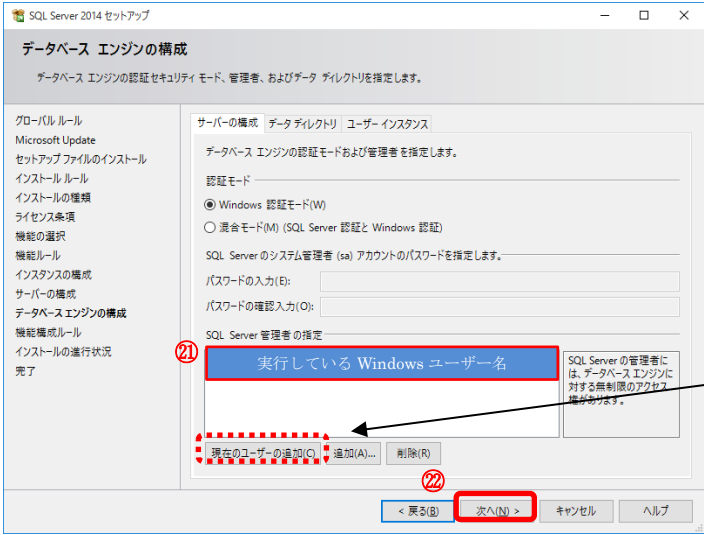
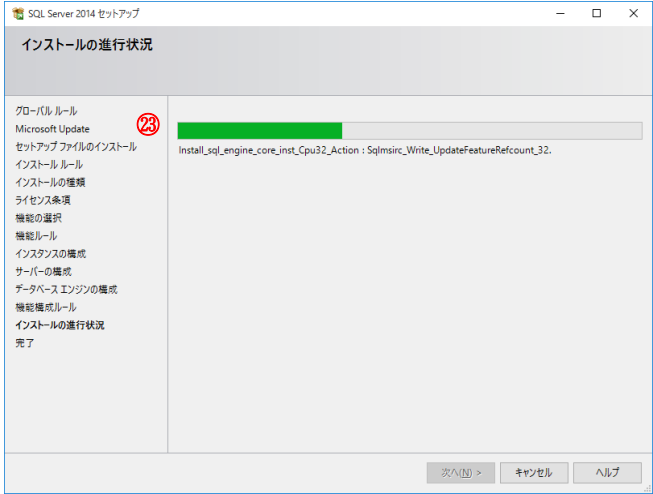
■既に SQLServer をインストールしている（別のインスタンスを作成している）場合

画面	操作説明
	<p>① SQL Server 2014 セットアップファイルを展開する場所（一時的な展開フォルダ）を設定してください。</p> <p>※ ここで設定したディレクトリに SQL Server 2014 がインストールされるわけではありませんので、ご注意ください。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【注意】</b> 展開ファイルのディレクトリは中身が空のディレクトリを選択してください。</p> </div> <p>② 「OK」ボタンをクリックします。</p>
	<p>③ 展開処理が開始されますので、待機します。</p>
	<p>④ インストールセンターの画面が表示されたら、「SQL Server の新規スタンドアロン インストールを実行するか、既存のインストールに機能を追加します」をクリックします。</p>

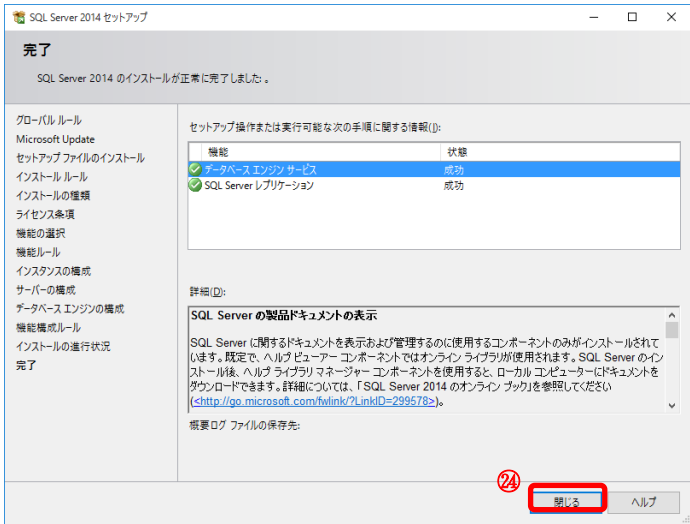

画面	操作説明
	<p>⑤ グローバルルール確認後、Microsoft Update の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。</p>
	<p>⑥ 製品の更新プログラムの画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。</p>
	<p>⑦ インストールルールの確認が実行されますので、待機します。</p>

画面	操作説明
	<p>⑧ 「SQLServer2014の新規インストールを実行する」をチェックする。</p> <p>⑨ 「次へ」ボタンをクリックします。</p>
	<p>⑩ ライセンス条項に同意しますにチェックを入れます。</p> <p>⑪ 「次へ」ボタンをクリックします。</p>
	<p>⑫ 機能の選択画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。</p> <div data-bbox="927 1653 1433 1749" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>SQLServer インストール先を変更する必要がある場合は、適宜行ってください。</p> </div>

画面	操作説明
	<p>⑬ 名前付きインスタンスを選択して、半角英数字で「CODECHECK2014」と入力します。</p> <p>⑭ 「次へ」ボタンをクリックします。</p> <p>名前付きインスタンスに「CODECHECK2014」と入力ください。</p> <p>インスタンス ID のテキストボックスをクリックすると自動で「CODECHECK2014」と入力されます。</p> <p><b>【注意】</b> 名前付きインスタンス・インスタンス ID が、半角英数字で「CODECHECK2014」と入力されていることをご確認ください。</p>
	<p><b>【注意】</b> SQL Server データベース エンジンのアカウントは、以下の手順で必ず「NT AUTHORITY\SYSTEM」で設定してください。</p> <p>⑮ SQL Server データベース エンジンのアカウント名のプルダウンを表示して、参照ボタンをクリックします。</p>
	<p>⑯ ユーザーまたはグループの選択画面が表示されたら、入力欄に半角英字で「system」と入力します。</p> <p><b>【注意】</b> 必ず半角英字で「system」と入力してください。</p> <p>⑰ 「名前の確認」ボタンをクリックします。</p> <p>⑱ 入力した値が「SYSTEM」に変更されます。</p> <p>⑲ 「OK」ボタンをクリックします。</p>


画面	操作説明
	<p>②⑩ 「次へ」ボタンをクリックします。</p>
	<p>②⑪ 実行している Windows ユーザー名が表示されているか確認します。 (表示されていない場合は、追加してください)</p> <p>②⑫ 「次へ」ボタンをクリックします。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【注意】</b> 実行している Windows ユーザー名の表示がない場合は、「現在のユーザーの追加」ボタンをクリックして、ユーザーを追加してください。</p> </div>
	<p>②⑬ インストールが開始されますので、インストールが完了するまで待機します。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【注意】</b> お使いの PC の環境によっては、インストールが完了するまで、30 分以上かかる場合があります。 途中で、インストールを中断せず、処理が終わるまで操作しないでください。</p> </div>



画面	操作説明
	<p>②④ インストールが完了したら、「閉じる」ボタンをクリックして終了します。</p>
	<p>②⑤ インストールセンターの画面を閉じてください。</p> <p>インストールセンターの画面を閉じましたら、セットアップ開始が再開されますので、引き続きセットアップを実施してください。</p>

## 4. アンインストール方法

DPC データ提出支援ツールのアンインストールは、以下の手順に従って実施してください。

画面	操作説明
<p>「プログラムと機能」画面</p> 	<p>① 「コントロールパネル」から「プログラムと機能」を立ち上げます。</p> <p>② 「プログラムと機能」画面から、「2022DPC データ提出支援ツール」を選択し、「アンインストール」を実行します。 （.NET Framework 3.5 のアンインストールは必要ありません）</p> <p>※ アンインストールを実行するには、管理者アカウントで作業を行う必要があります。 標準ユーザーで Windows にログインしている場合は、管理者アカウントのパスワードを入力してください。 Windows の管理者アカウントでの作業については、各医療機関のシステム管理者とご調整をお願いいたします。</p>

## 5. Q&A

「DPCデータ提出支援ツール」のインストールに関するQ&A、または「DPCデータ提出支援ツール」の操作やその他の機能に関わる Q&A については、「DPC データ提出支援ツール Q&A」のマニュアルを参照してください。

## 6. インストールができない場合

インストーラーを実行した際にエラー等でインストールができない場合は、PC を再起動して、再度セットアップ.EXE の実行をお試しください。

それでも、セットアップエラーが発生するようでしたら、以下のエラー情報を添付したうえで、調査事務局宛 ([dpc@prism.com](mailto:dpc@prism.com)) に送付ください。

### 6.1. 添付するエラー情報

1. セットアップツールの「実行状況ログファイル」を出力し送付ください。  
セットアップツール画面の左下にある[実行状況ログ]ボタンより出力できます。  
(ファイル名：実行状況ログ\_YYYYMMDD\_hhmmss.xml)
2. セットアップツール実行時、エラーが発生した画面のハードコピーをお送りください。  
(可能であれば、エラーメッセージが見える画像)
3. SQLServer2014ExpressSP3 のインストールログファイルをお送りください。  
下記の出力先に出力されます。

#### 【SQLServer2014ExpressSP3 インストールログの出力先】

##### 「32bit の場合」:

「C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥120¥Setup Bootstrap¥Log¥  
yyyyMMdd\_hhmmss¥Summary\_PC 名\_YYYYMMDD\_hhmmss.txt」

##### 「64bit の場合」:

「C:¥Program Files (x86)¥Microsoft SQL Server¥120¥Setup Bootstrap¥Log¥  
yyyyMMdd\_hhmmss¥ Summary\_PC 名\_YYYYMMDD\_hhmmss.txt」